

# 令和4年度 子吉川圏域流域治水協議会（作業部会） 現地視察会の概要

- 日時：令和4年10月19日（水） 10:30~12:00
- 場所：林野庁 東北森林管理局 由利森林管理署所管事業  
「スギ超長伐期施業地」
- 議事：(1) 「流域治水プロジェクト」の概要説明  
(2) 「スギ超長伐期施業地」概要説明・現地視察  
(3) 情報提供  
・「子吉川リスクマップ」について

## ■ 出席者 15名

所属	局	部署	課	役職	
林野庁	東北森林管理局	由利森林管理署	次長	兼 危機管理課長	
			危機管理課	課長補佐	
			建設部	建設管理課	課長
			森林水産部	森林水産管理課	主任
			森林水産部	森林水産管理課	主任
にかほ市	企業局	建設部	防災課	課長	
		建設部	河川防災課	副主任 兼 課長	
秋田県	森林水産部	森林整備課	主任		
		森林整備課	主任		
		森林整備課	主任 兼 課長		
		森林整備課	主任 兼 課長		
国土交通省	東北地方整備局	秋田河川国道事務所	調査第一課	課長	
				専門調査官	



## ■ 議事概要（由利森林管理所説明）

- 一般的にスギの伐採については、子吉川流域では伐期60年とされているが、特に林地の生産力が高く、健全で良質な大径材を主体に構成が可能な林分については伐期150年の「超長伐期施業」を実施し、林齢60年以降は20年サイクルで間伐を実施し、下層植生の生育等をうながし、緑のダムとして浸透、保水能力のある林分を形成して行きます。

## ■ 出席者からのコメント

- 近年、一般住宅の建材として木材の国内需要が上昇しており、民有林では伐採が進んでいるが、材木単価は低迷しており、経済的な負担が大きくなる「再造林」が進まないケースもある。  
県は森林所有者に対して補助金制度の活用を呼びかけている。
- 森林を適切に管理することで、下流域の洪水被害の軽減にもつながる。
- 他事業の現場を視察できて貴重な体験だった。森林管理の理解が深まった。



▲参加者の皆さん



▲「スギ超長伐期施業地」の概要説明状況